

# 令和5年度 第2回 豊田市猿投地域会議 会議録

開催日時	令和5年5月25日(木)	開会	閉会
		午後7時	午後8時10分
会場	猿投北交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：17人		
	会長：林 哲夫 副会長：近藤 宗行		
	委員：池田 利雄	磯谷 雅彦	梅村 寿
	梅村 基	大澤 正利	近藤 隆光
	高橋 直子	田中 則夫	羽根田 三枝子
	林 昇司	眞木 保	宮川 延孝
	森 篤史	森田 裕子	山田 和孝
欠席者	2名(爾見 綾子 山野邊 秋夫)		
傍聴者	なし		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、太田副支所長、井沢主査、岩村(麻)書記		
	1. 豊田市民の誓い(黙読) 2. 会長あいさつ 3. わくわく事業現場確認について 4. 新たな提言に向けた取組について 5. わくわく事業審査結果について(地域会議だより(案)) 6. 事務連絡		

## ■議事(要約)

### 3 わくわく事業現場確認

資料1頁について事務局から説明

わくわく事業の現場訪問グループ案について

→結論：異議なし、原案どおり承認

資料2頁の活動確認報告書はでき次第、事務局に提出を依頼

### 4 新たな提言に向けた取組

資料3頁～9頁について事務局から説明

→質疑等：資料5頁の平面図において、多目的ひろば下の見切れている道路は幅員が狭い、どうやって車を入れるかが問題で地元の反発が起きる可能性がある。

回答：25m幅で市の用地買収は完了している。進入路は施設の整備とセットのものなので、市へ要望していく必要がある。

→質疑等：(仮)道の駅的公園の施設管理はどうするのか。

回答：決まっていない。現在決定している水辺ふれあいプラザは、施設管理を矢作川研究所、日常管理は亀首まちづくり委員会が実施することになっている。

→質疑等：資料6頁の提言書イメージで、取組内容になるマルシェは地域の方で実施す

るのか。

回 答：実施する際は地域の方に動いてもらう必要がある。市は実施の支援をする。地域課題解決事業として事業化した場合の実施主体は豊田市となる。事業はどんな施設ができるかによって変わってくるが、必ず共働で行うものでなければならない。

→質疑等：資料6頁の背景(問題点)において、「川で遊ぶことが禁止されている」という表現があるが、禁止はされていないと思う。どういうことか。

回 答：規制されているということではなく、親御さんが子供に川で遊ぶことを禁止している。気軽に遊べるようにという意味合いで提言は現時点でイメージ、今後の会議で内容や表現等を揉んでいくことになる。

→質疑等：資料7頁で猿投山の登山者の駐車場が不足している。水辺ふれあいプラザに追加で市が駐車場用地を確保してくれるといい。

回 答：場所的に使い勝手がいいのかどうかの疑問が残る。手っ取り早く使える土地としては考えられるが、場所はここで限定するものではない。これからの協議次第で検討していくことになる。

## 5 事務連絡

ラリージャパンについて説明

地域自治システムのパンフレット、猿投地域会議だより6月号の配付  
(次回の予定)

日時：令和5年6月22日(木) 午後7時から

場所：猿投北交流館1階 多目的ホール

内容：提言の協議